広報 南国

編集発行
南国市役所
電話(代表)451番
印刷所
安岡印刷所

広報は……
……みんな
読むもの……
……つくるもの

すくない工事費、多い人件費

35年度当初予算決まる

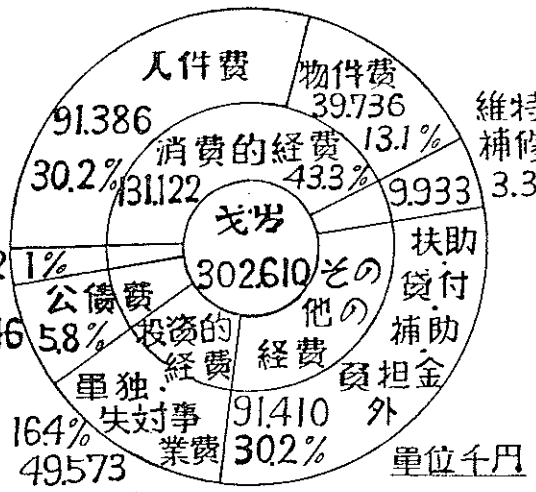
南国市の三十五年度一般会計才入、才出当初予算(総額三億二百六十一万円)上水道特別会計(総額千三百五十五万九千二百三十三円)穴内川ダム対策特別会計(総額百六十二万四千五百円)は他の議案とともに三月十二日の議会に上程され同月二十三日可決された。

一般会計の才入で多いものは市税の八千五百五十五万円、地方交付税の八千五百万円でともに才入の二八%強。つぎに国庫支出金七千四百六十八万円の二四、七%といったところ。

才出で費目別に主なものをひろってみると、社会労働施設費(八千六百六十六万円)が、全体の二八%をしめ、これに次ぐのが教育費(六千五百六十四万円)の二二%。両方をあわせると予算総額の半分をしめることとゝなる。また市役所費(五千三百二十三万円)の一七%、土木費(二千九百六十六万百)一〇%も右翼を占めている。

一面経費別にみると、扶助料、貸付金、補助、負担金、その他の経費と人件費が三〇、二%と同じ比率をしめ一般に消費的経費とみなされるものが全体の七六%におよんでいる。反面投資的経費(各種事業費)は、僅か一六、四%。

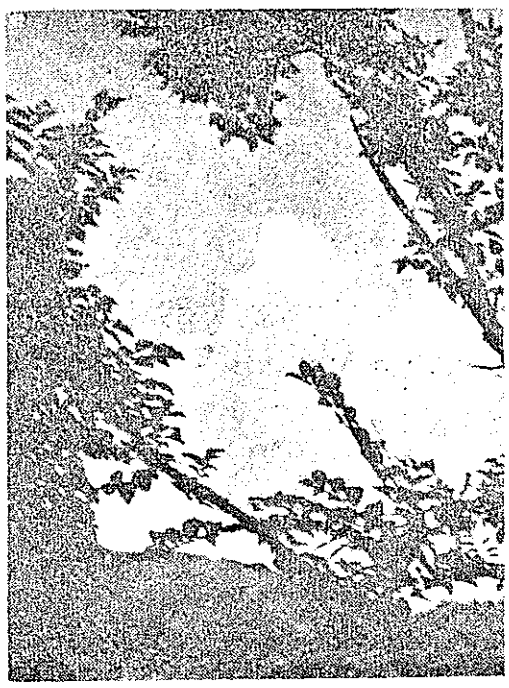
また比較的多いといわれる人件費には、議員、各種委員の報酬の最高は議員報酬で、四百十一万六千円(議員平均一人当り十三万七千二百六千円となつている。



七委員で
国有林払い下げ

市では赤字財政を救済するため国有林の払い下げ運動を強力に行なうこととなり七人の国有林払下対策委員を選任した。

野口幸重(議長)、川田鉄治、橋本一二三、岩原隆雄、平田良広、永田良水(以上議員)



夏ちかし

福祉事務所移転

市庁舎がせまいため、市福祉事務所はこれまで旧香長村役場に設けられていたが市では庁舎の補修と増築を行ないこのほど本庁に移転。

これで同所を利用するものはすべての事務が同じところでできるようになり、便利になつた。

なお、電話南国四五一番

市役所人事異動

市では四月六日付けで職員の人事異動を行なつた。係長以上次の通り。

「建設課」課長補佐 田岡高行(領石支所長)、同水道係長 井上克幸(同課庶務係長)「産業経済課」農林係長 坂本延男(同課員)「市民課」厚生 衛生係長 野村運雄(領石支所第一係長)「福祉事務所」所長 土居彦馬(同次長)、次長 橋村重春(岡豊支所長)領石支所長 浜田茂満(福祉事務所長)、同支所第一係長 垣内英伸(建設課水道係長)、岡豊支所長 岩原龍来(産経課農林係長)「保育所長」後免 松村茂久恵、西部 黒島幸、久礼田 竹中常喜、大篠 前田福子、前浜 浜田静枝、稲生 高井千鶴、あけぼの 猪野重淡中富士枝、東部 子、国府 浜田幸、十市 高橋豊、里 神田良美、南部 久万富士、明見 池本澄子、岡豊 森田藤江、岩村 中村寿

春季交通安全運動

十六日から(二十五日まで)春季交通安全運動が始められている。

この間南国署と交通安全協会南国支部では車をつらねてパレードを行い、安全思想を高揚。また警察では飲酒運転を厳重取り締まり、道路上の物件放置、無許可使用につき指導取締まりを実施。

嶺南会月末に
再組織

市内の官公庁、各種団体代表、一般有志を会員とする嶺南会は、本月末再組織される。

この会は親睦と地域発展の研究を狙いとして旧町村当時組織され、南国市発足のきつかけをつくつたが、町村合併のため活動を中断していた。

なお入会については本紙三面に説明されている。

山本氏委員長に
「広報委」決まる

なお、広報委員会は、広報紙の発行のみでなく、座談会、公聴会、講習会なども行うことになつているが、当分「広報南国」の充実につとめることに決めた。事務は市役所総務課で取り扱うことになつている。

10月実施を目標
待望の国民健康保険

市民待望の国民健康保険は目標に各世帯についての基礎調査を始めることになつた。

実施後は医療費の半額は給付され、市民の利益は、はかりしれない。

なお国保実施にともない、市役所には保険課が新設され、現在市民課か行なつている国民年金事務も行なわれるはず。

漁対策委決まる

市では沿岸漁業振興のため物部川口港をつくる計画をたてて漁業対策委員会を設け、次のとおり委員を選任した。

烏内稲喜、高木正延、浜田勇(以上議員)北村広喜(議員、久枝漁協長)森国勇吉(十市)、高木寿恵喜(前浜)、溝淵正一(浜改田各漁協長)西村熊喜(久技)、橋本直治(南部公民館長)

市では広報委員会規則の制定にともない、人選中であつた委員に、このほど次の者を選任した。

委員の構成は、学識経験者四名と職員三名の計七名からなつている。

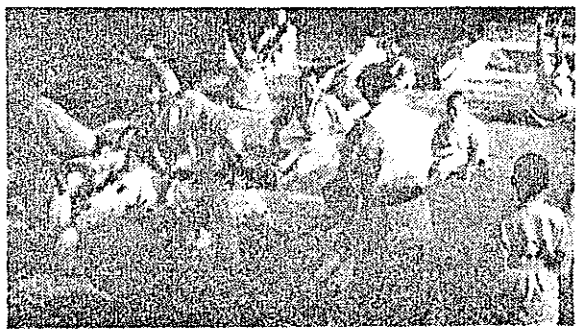
正、副委員長は委員が互選した。

委員長‖山本尚一(後免、医師)、副委員長‖土居太興(十市、農業)、委員‖藤本茂樹(日章、農業、鉄工)、三谷勇吾(後免、高新支局長)、山本知一(社会教育係長)、田中隆夫(同係長)、東村達夫(総務課庶務係長)

小籠郵便局開設

長岡地区西部の人たちのため、五月二日小籠郵便局が開設された。

約八十万円を投じて建設されたもので、こんご大西局長らにより、無集配局として地元民にサービズすることとなつた。



少年不良化防止めざす

市では広報委員会規則の制定にともない、人選中であつた委員に、このほど次の者を選任した。

委員の構成は、学識経験者四名と職員三名の計七名からなつている。

正、副委員長は委員が互選した。

委員長‖山本尚一(後免、医師)、副委員長‖土居太興(十市、農業)、委員‖藤本茂樹(日章、農業、鉄工)、三谷勇吾(後免、高新支局長)、山本知一(社会教育係長)、田中隆夫(同係長)、東村達夫(総務課庶務係長)

柔道でこころとからだをきたえ、絶対に不良になるまいとする五つの誓いのもとに少年柔道クラブが発足した。

長岡地区野中に生れた「南国市少年柔道クラブ」がそれで、南国署の青年巡査、広井生幸氏が同地区の担当だつた当時、少年たちの言葉や行動から不良化の寸前にあることを知つて健全なスポーツとして柔道を取り上げ、少年たちのこころを引き付けようと、長岡小学校や、萬ケ池中学に校呼びかける

二千九百万円計上
香長中第二期工事

中学校統合計画の一つとして取り上げられた香長地区の三和、十市、稲生、大篠五校統合の香長中学校建設

柔道五つの誓い

予算から施設整備費として約三万円支出のはず。

五つの誓い

○、柔道で、正しい少年になろう。

○柔道で、よく学ぶ少年になろう。

○柔道で、礼儀正しい少年になろう。

○柔道で、誘惑にまけない少年になろう。

▼こどもは社会の一員であつて、子どもの人権をおとなたちは十分認めて、子どもの人権を侵してはならない。▼四月一日から始まつた第十六回青少年保護育成運動は来年三月末まで続けられるが、特に五月はこの運動強調期間として、社会の関心を喚起し理解と協力を深める運動を全国的規模で展開されている。▼ことに五月五日の子供の日には、家族ぐるみいろ〳〵と子供に対する行事がなされ嬉しいことであつた。ところで子どもと一日の行楽に出かけた家庭で、親達が乗物の座席を占領してしまつて、子供の存在を忘れているのをよくみかけた。これでは子どものための行楽か疑いたくなるとともに、子どもたちに折角うちかはれようとしている社会性という面を平気で裏切りこわすような行動が一向に改められない点を指摘したい。▼子供たちの前でなんの反省もなく不用意な言動をなすこと自体が、子どもの人格を認めていないか、そうでなくても軽んじている現はれではなかろうか。▼このことは児童憲章に「児童は人として尊ばれる」とあるごとく、子供を人として遇する心づかいに欠けているのではなかろうか。また子どもの不信をまねくような、おとなの言動が純真な子どもにいかに強く反映するか。成長の過程にどんな悪い影響をもたらしているかを、いま一度反省すべきではないか。毎日のように尊い人命が交通禍によるぎせいが報じられるが、子どものぎせいはいたましい。▼市では長岡西部地区に子どもの遊園地を二ケ所設置することになつているが、完成すれば子どもの切なる願いに対し、環境よい遊びの場として、また児童の生命を交通厄から守るこよなき親たちのプレゼントとなろう。

○柔道で、正しい少年になろう。

○柔道で、よく学ぶ少年になろう。

○柔道で、礼儀正しい少年になろう。

○柔道で、誘惑にまけない少年になろう。

▼こどもは社会の一員であつて、子どもの人権をおとなたちは十分認めて、子どもの人権を侵してはならない。▼四月一日から始まつた第十六回青少年保護育成運動は来年三月末まで続けられるが、特に五月はこの運動強調期間として、社会の関心を喚起し理解と協力を深める運動を全国的規模で展開されている。▼ことに五月五日の子供の日には、家族ぐるみいろ〳〵と子供に対する行事がなされ嬉しいことであつた。ところで子どもと一日の行楽に出かけた家庭で、親達が乗物の座席を占領してしまつて、子供の存在を忘れているのをよくみかけた。これでは子どものための行楽か疑いたくなるとともに、子どもたちに折角うちかはれようとしている社会性という面を平気で裏切りこわすような行動が一向に改められない点を指摘したい。▼子供たちの前でなんの反省もなく不用意な言動をなすこと自体が、子どもの人格を認めていないか、そうでなくても軽んじている現はれではなかろうか。▼このことは児童憲章に「児童は人として尊ばれる」とあるごとく、子供を人として遇する心づかいに欠けているのではなかろうか。また子どもの不信をまねくような、おとなの言動が純真な子どもにいかに強く反映するか。成長の過程にどんな悪い影響をもたらしているかを、いま一度反省すべきではないか。毎日のように尊い人命が交通禍によるぎせいが報じられるが、子どものぎせいはいたましい。▼市では長岡西部地区に子どもの遊園地を二ケ所設置することになつているが、完成すれば子どもの切なる願いに対し、環境よい遊びの場として、また児童の生命を交通厄から守るこよなき親たちのプレゼントとなろう。

東場公民館完成

総工費四十万円、(うち十五万円市補助)で着工中の東場部落公民館十五坪はこのほど完成し、落成式を行なつた。

また完成に伴い、同部落出身、高知市通町の浜田作蔵氏からテレビが寄付され、部落の人たちは毎夜集つて楽しんでいる。